

海賊対処の第33次派遣部隊がソマリア・アデン湾に向け出港

～ 派遣海賊対処行動水上部隊（第33次隊）出国行事の様 ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処行動のための第33次派遣水上部隊の出国行事が3月16日（土）に開催され、護衛艦「あさぎり」が舞鶴基地（京都）から出港した。舞鶴基地から水上部隊が派遣されるのは第2次派遣部隊以来となる。

同部隊は、護衛艦「あさぎり」佐藤吉範艦長が指揮を執り任務にあたる。乗組員約200名並びに海上保安官8名により編成されており、現地に到着次第、先に派遣された第32次部隊の護衛艦「さみだれ」に替わり、護衛活動を開始することになる。

式典では、防衛大臣訓辞を中尾剛久舞鶴地方総監が、自衛艦隊司令官の訓辞を石巻義康第3護衛隊群司令が、それぞれ代読した。

当協会からは商船三井 小林正則執行役員、飯野海運 荒木俊雄専務執行役員、日本郵船 後藤湖舟経営委員ほか5名が、また国際船員労務協会からは今田俊介副会長ほか2名が参加し、派遣部隊の指揮官らに花束を贈呈するなど、新たにソマリア沖・アデン湾に赴く護衛艦の乗組員の方々に感謝の意を表した。

（海務部 事務局）

出国行事



防衛大臣訓辞（代読）を拝聴する佐藤艦長



整列する派遣隊員



協会代表を務める小林執行役員



花束を贈呈する小林執行役員



園児からメダルを贈られる派遣隊員



出航の挨拶をする佐藤艦長



乗艦する派遣隊員



出航する「あさぎり」



舞鶴地方総監部のマスコットとともに護衛艦を見送る
日本船主協会関係者